

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

1 開催日時及び出席者数

No.	開催日	時間	地域	会場	出席者数	No.	開催日	時間	地域	会場	出席者数
1	3/20㊥	14:00～15:45	藤沢	藤沢市民センター	18人	5	3/24㊦	18:28～20:15	東山	東山地域交流センター	7人
2	3/21㊧	14:00～15:53	花泉	花夢バル	21人	6	3/25㊨	18:30～19:34	川崎	川崎市民センター	8人
3	3/22㊩	18:30～19:56	室根	室根曲ろくふれあいセンター	7人	7	3/26㊪	18:30～19:44	千厩	千厩市民センター	13人
4	3/23㊫	18:30～20:14	大東	大東コミュニティセンター	23人	8	3/27㊬	10:00～11:38	一関	一関市総合体育館(ユードーム)	11人
計										108人	

※市からの出席者：（全地域）総務部長、財政課長、財政課員

（一関地域）まちづくり推進部長（代理：まちづくり推進部次長兼まちづくり推進課長）、商工労働部長

（一関地域以外）支所長、支所地域振興課長、支所地域振興課職員

2 意見の概要及び市の考え方

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
市政全般			
1	花泉	市の歳入を増やす方法は考えているのか。	歳入を増やす取組も行っているが、人口減少に伴う市税の落ち込み、国からの財源も大きな割合を占めており、傾向とすれば歳入の減少は避けられない。
2	花泉	大規模な事業所が閉鎖したが、それに対応する産業あるいは工場が増えなかった。 ILCはいつになるのかわからない。 まず、税収を増やす方法を考えることが必要であり、ふるさと納税の状況を教えてほしい。	ふるさと納税について、昨年度は1億円未満で、県内の市でもかなり低い状況であった。 今年度は、2億7,000万円位を見込んでおり、昨年度より2億円以上の収入増となっている。 返礼品についても、市内事業者から提案をいただきメニューに取り入れるなど、地域産業の販路拡大の一つになればという思いで取り組んでいる。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
3	大東	本問題の根底には市の財政難がある。 産業振興を市が積極的に行うべきではないか。	市が保有する全ての施設を維持していくことがベストであるが、施設の維持修繕費に令和3年度予算で約10億円計上している。しかし、それでも施設修繕等の要望を満たしていない状況である。 施設保有の見直しを行い、重点的に施設維持を進め、限られた予算の中で、産業振興に充てる予算も捻出していきたい。
4	大東	少子高齢化に対する市の対応はどうか。	対策は行っている。 他市に比べても子育て予算は手厚くしている。
5	大東	高齢者のレクリエーション施設を無くすような本計画には不満である。 市の敬老会のあり方にも不満であるがどうか。	市の収入を確保すべく、産業振興に取り組むが、支出も抑えるようにしていかなければならない。 敬老会については、当市のように市が主催するところは、あまり他市町村には無い。また、会を運営する側の高齢化ということもあり、今後のあり方を見直している状況である。
6	大東	旧東磐井郡ではソニーが撤退し、衰退した。市はもっと農業振興を行うべきだ。	(意見として発言があったもの)
7	大東	人口減少対策について、他市の対策を見習い、いつまでも住み続けられる地域にしてほしい。	(意見として発言があったもの)
8	大東	本計画とILC投資との関係はどうか。	本説明会でILC関連のことはお答えできない。
総合管理計画全般			
9	藤沢	どんどん施設を廃止し、最後には市役所と市民センターしかいないとなるのではないかと不安。 中途半端ではなく、もっと思い切ってやってみてはどうか。送迎をすればよいだけではないか。 辺りな地域に住んでいるのが悪いと言われている感じがする。 住民自治を求める一方で、コミュニティの場を縮小する方針とを感じる。 お金が無いのであれば、職員の給与を下げてはどうか。	合併前の市町村の考え方で整備された多数の施設の全てを今のまま維持していくことが困難な中で、必要な施設を維持するための取組でもある。 人件費の縮減や行政改革についても取り組んでいる。 保有見直しの具体的な取組には、様々な課題が考えられることから、地域との話し合いをしながら進めていきたい。
10	一関	施設を1割程度減少するという話だが、金額としてどの程度減らせる見込みなのか。	施設に係る40年間の費用を2,151億円と試算しており、面積見合いで1割減を見込むと、200億円程度と見込んでいる。
11	一関	廃止を検討する一方で、新設する施設等は今後あるのか。	新設の施設は具体的なものは現在ないが、学校関係の施設が考えられる。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
12	一関	東口体育館を取得、整備したが、そうした施設も今後、この計画の対象となっていくのか。	東口体育館についても、総合管理計画の対象となり、必要な時期に保有の見直しの検討を行うこととなる。
13	大東	当市の公共施設総延床面積が他市と比べ大きい理由は何か。	合併前の各市町村の施策による施設保有が背景にある。また、当市は8市町村の広域的な合併により施設保有数も多くなった。
14	大東	資料5頁には、5つの基本方針が示されているが、「まちづくりのビジョン」をしっかりとすうえで、このような計画をたててほしい。	(意見として発言があったもの)
15	一関	譲渡を行う見込みの施設で譲渡先がない場合は、再度検討する作業を行うのか。	施設の譲渡に希望者がいない場合は、今後市が施設の管理を行う必要性について改めて検討していく。
16	一関	次期計画は未定ということだが、例えば、5年間で一旦区切るとか、老朽の年数がどの程度ならというものを示してもらえれば分かりやすい。 このスケジュールでどういう展開になるというのを示せるよう検討してほしい。	(意見として発言があったもの)
17	一関	施設が老朽化していると言うが、黙って老朽化したわけではない。毎回修繕を依頼するが、思い通りにならなかった。仕方ない部分もあるが、行政側にも理解してもらいたい。	(意見として発言があったもの)
18	花泉	合併時、花泉地域は緑の田園地帯とし農業地帯をイメージした合併後の構想であった。 農業を基幹産業に据え農業技術開発センターで農業技術を開発し、花と泉の公園で人材育成をして花卉栽培等の産業につなげる構想があったが、合併時に花と泉の公園は観光施設として扱われるようになり、今回、農業技術開発センターは規模縮小という案になっている。 県南技研でもウルトラファインバブルを用いた野菜栽培に取り組んでおり、新しい稼げる農業をやっていこうという矢先に、規模縮小との案であり、今までの経緯が無視された計画となっているのではないか。	地域産業の振興という視点は非常に大事だという認識は持っている。 見直し方針の前提として、今の施設を今のまま将来に亘って維持していくということが難しいという考えがある。 今後の施設維持・改修に多額の財源が必要となることが見込まれ、限りある財源で施設の維持と各種施策の推進を図る必要があるが、施設改修は現状でも十分な予算が確保できない状況であり、必要な施設を維持するための保有見直しの取組である。 産業振興については、また別な視点での検討が必要と考えている。
19	川崎	見直しはやむを得ないと思うが、地域の生活圏に必要な建物はある。建物が中心となって地域が栄えている。 災害の避難所的な使い方をしている所もある。そのような観点から見直しをしているのだろうか。地域の文化をおきざりにしているのではないか。	施設整備のための予算はあるが、全ての施設の修繕に対応できていないのが現状である。 これまでの説明は財政的な観点からの説明が多かったかもしれないが、今後のことは地域と話し合い、方向性を決めていきたい。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
20	藤沢	指定管理を受けているが、施設の見直し方針は本日初めて分かった。	見直し方針は、2月に公表したもので、本日初めてわかったのはそのとおりだと思う。公表以前に個別の施設の指定管理者と協議したというものはない。
21	藤沢	遅くなれば遅くなるほど財政負担は増えていくのではないかと。言うこととやることの整合を図らないといけないのではないかと。	施設の見直しをすることによって生じる財源により、施設の整備をしていく考えであり、見直しが進まないで財源の捻出も出来ないというのはそのとおりだが、市の思いだけでは進められないと考えており、十分な説明をしながら理解をいただいで進めていきたい。
22	藤沢	パブリックコメントを実施していることを知らなかった。広報等での周知は行われたのか。	パブリックコメントは、広報2月1日号への掲載のほか、ホームページ、プレスリリースでお知らせしたが、伝わりきれていない部分があったと思う。 今後の取組で改善を図りたい。
23	東山	平成28年作成の財政見通しがあるが、現時点での差異はないのでしょうか。	令和3年度当初予算は666億円となっており、60億円ほど上振れしている。 要因は、学校統合改修事業などの事業が集中し普通建設事業費で30億円、扶助費は12億円ほど増額となっている。 学校統合事業の集中や消費税増税を財源にした子育て支援などの社会保障の充実もあり、歳出が増額となっているが、歳入も伴っており、一概に歳出の増額が財政状況の悪化ということではない。 全体的な傾向としての市税の減少は変わらないと捉えている。
24	東山	平成28年の試算をもとに、財源不足額や縮小面積を出しており、令和3年度予算で60億円の上振れがあると、整合性がとれないのは無いか。	状況が変わったので、取組も変わるのではないかとするのはそのとおりだと思うが、歳出の増額にあわせて、交付税措置のある地方債など有利な財源も増えており、全体的な傾向としては大きく違わないという認識である。 現在も施設の改修予算も十分に確保できない現状であり、全ての施設を今のまま維持していくのは困難なことから、改修などの予算を確保していくためには、施設の見直しをしていくことが必要である。 資料はこれまでの経過を説明するものであり、当時の内容を記載している。
25	東山	計画策定当時に加え、現時点の状況も説明いただければ理解が進むと考える。	(意見として発言があったもの)

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
26	東山	先導的という言葉を用いているが、どういった意味か。	公共施設等総合管理計画は市が保有する全ての施設を対象とし、保有の見直しや維持管理について定めている。 保有の見直しを一度に進めるには施設数が多いことから、一定の要件を定め対象施設を抽出し取組み、その後、その他の施設の見直しを検討していくという考え方から先導的という言葉を使用している。
27	東山	先導的とは第三者が評価する際に使われるものと理解している。 今の説明では、先に処理しなければならない施設を処理しましょうと聞こえる。 行政が自ら行う取組を先導的というのはいかがなものか、言葉の使い方として残念だと思った。	(意見として発言があったもの)
28	東山	東山小学校を長寿命化改修したが、今後の同様に長寿命化改修していく施設があれば教えて欲しい。	東山小学校の長寿命化改修は、学校では市内初めての取組であるが、大規模改修も施設を長く使うという視点でいえば、長寿命化改修の一つとなる。 今後、具体的に想定している施設との質問だが、施設の改修を検討する場合に、施設老朽化の度合、どの程度の改修を想定するか、施設の利用方法をどうするかなどを踏まえて検討していくこととなる。 また、今回の方針案の長寿命化改修には建替えも含めた検討を行うことを想定している。
2-(1)検討対象施設の抽出 (P4)			
29	一関	今回説明の無かった施設についての方向性はあるか。	今回は令和8年度分までの計画を示しており、説明が無い施設については、令和9年度以降の計画を改めて策定する際に方向性を示していく。
30	一関	名前の上がらなかった施設は対象にならないのか。	老朽化した施設、小規模な施設、公共性が低下している施設について検討しているため、対象としていない。
31	千厩	今回の方針の対象となっていない施設については別途検討するのか。 例えば、アイスアリーナ（千厩）は古くなっている。 老朽化した施設を取り上げているが、アイスアリーナは入っていないのでどうするのかお聞きしたい。次の段階で検討に入るのか。	今回の計画で老朽化した建物については築41年以上を経過している施設が対象となっている。 対象外の施設については第1期計画期間中は維持していく方向性であり、次期計画期間において保有の見直しの検討を行うことを想定している。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
32	一関	現在、介護や認知症予防が問題になっており、体育施設は介護予防等の機能もある。 単に老朽化した施設、小規模な施設、公共性が低下している施設というだけで廃止してよいのか考えを聞きたい。	施設を廃止していただくだけではなく、健康等に対応する取組も必要になると考えている。 地域の方との話し合いを行い、検討したい。
2-(4)今後の方向性の検討（P7）			
33	花泉	観光施設でも栗登一平など広域圏での連携はなされていないのではな いか。	(意見として発言があったもの)
34	花泉	庁内検討の際には、戦略的な攻めの事業展開を図る視点での議論は無 かったのか。	庁内の検討は、この施設保有の見直しについてどうすべきかという 視点で検討した。 各種施策を行う場合も財源の確保が課題となる。
2-(5)具体的な取組（P9）			
35	東山	庁舎等の余裕スペースの有効活用などできることから早急に取り組ん ではどうか。 コロナの終息はまだだが、一般企業は今の時勢で施設を保有するのは 難しい面もある。 何年までには取り組んで行くではなく、早くやれるところから取り組 んで行くことも必要ではないか。	庁舎の空きスペースの活用については、機能集約などで、機能は維持 しながら、施設の数縮減していくという視点もある。 余裕スペースの活用は、施設の見直しにかかわらず、進めていく必要 あると考えますので、意見として賜る。
36	一関	複数の項目において、行政によるサービスの向上とあるが、どうい うサービスが向上されていくのか。	各施設で課題も異なるため、利用者や地域の方と話し合いながら、 サービスの向上の視点をもって進めていく考えである。
37	一関	地元自治会と協議を行うとあるが、この際の協議場所は地元になるの か。	基本的には地元での協議となる。別な場所での希望があれば、柔軟に 対応したい。
38	花泉	方針案で廃止となっている施設も廃止が決定しているものではなく、 説明会、パブリックコメントの意見を踏まえ検討されるとの認識で良い か。	お見込みのとおり、案であり決定した内容ではない。 ただし、市とすれば、こういう方向で進めたいというものである。 方針決定後、地域の方、施設の利用者との協議を踏まえて進めていく ことになる。
39	大東	説明会は大東地域で1ヶ所のみであるが、今後の進め方はどうするの か。	今後施設ごとに利用者等との話し合いを計画している。
40	大東	廃止するにあたっては、施設利用率を考慮してほしい。	(意見として発言があったもの)

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
41	大東	本計画（案）について、大東各地域（市民センター単位）からの代表による話し合いの場が必要である。	（意見として発言があったもの）
42	大東	建築何年経過したから廃止するのではなく、その地域や利用者との話し合いをもって進めてほしい。	（意見として発言があったもの）
43	千厩	譲渡の場合、土地まで譲渡するのか。	建物という考え方が基本となるが、協議の中で土地の譲渡の希望があれば、柔軟な対応をさせていただく。
44	東山	老朽化した施設を現状のまま譲渡では、受けてはいないと思う。個別施設の話はそれぞれだと思うが、譲渡後、5年、10年使用を条件に、その間の改修は市が行うなど、基本的な考え方を伺いたい。	譲渡や廃止の取組の基本的な考え方であるが、まずは地域の方や利用者との話し合いを行うことが基本と考えている。そのなかで、課題を捉え解決先を考えて行くことになる。現時点で具体的な課題への回答は持ち合わせていない。
45	藤沢	譲渡は現状渡しか、必要な修繕した後で譲渡となるのか。	話し合いを通じて譲渡条件の整備、課題抽出、解決策の検討を行っていくこととなる。
46	藤沢	市としては、方針（案）のとおり進めていきたいし、支障となる課題は解決策を検討するという理解で良いか。保有縮減から保有維持となることはあるのか。	市としては、この内容で進めたいと考えている。しかし、地域の状況や施設の特異性などを十分反映できていない部分もあることから、話し合いを踏まえまして取組を進めていくので、見直しの余地が無いという事ではない。
47	藤沢	廃止や譲渡について、地域での説明は予定しているか。	今後施設ごとに利用者等との話し合いを計画している。
48	千厩	廃止となっている施設について、早急に解体してほしいという要望を出した場合、優先的に解体していただけるのか。	解体も事業費がかかるので、今の時点で早期解体は約束できない。
49	大東	大東地域では古い施設が多く、身の回りの施設が無くなってしまうとの危機感があるが、これから考え方を伺う。	今後施設ごとに利用者等との話し合いを計画している。
50	千厩	譲渡を受けた場合、受けた団体に固定資産税がかかっていくのか。	固定資産税については、自治集会施設などは減免申請をさせていただいたうえで減免している。
51	千厩	自治会で集会所等として譲渡を受けた場合、修繕や解体は市で対応していただけるのか。	譲渡後は所有団体に維持管理していただくことになるが、他地域でも、自治会で管理するにはあまりにも大きすぎるなど意見がある。他地域とのバランスをや関わりを踏まえた中で支援策を検討していく。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
3-■施設保有の見直し区分の考え方 (P10)			
52	一関	修繕を行うと位置付けている施設は、計画の期間が過ぎてからの方針は決まっているか。	修繕を行う施設については、令和8年度までの施設の利用は決まっております。それ以降は、利用状況等を踏まえて保有の見直しを検討していく。
53	藤沢	取組の3年間とはいつからと考えているのか。利用者との協議はいつ頃と考えているのか。	全ての施設を一斉に取り組むことは困難なことから、まずは方針を定め、その後に個別施設の検討を行うこととなる。
54	藤沢	見直し区分の活用の位置づけを説明してほしい。	見直しの区分を考える際に、見直しの目安を20年毎とし検討をした。20年目、40年目、60年目にどういった保有の在り方とするかを検討し、これからの9年間ではどうするかを検討した。活用の区分は、20年のスパンが第1期中期計画に当てはまらない施設を位置付けている場合が多い。令和9年度以降の施設のあり方については、第2期計画の策定で検討することとなる。
55	藤沢	活用というのが保有縮減という方に進みやすいという意味での活用かと心配しておりました。活用という意味合いを明確にした方が良いと思います。例えばみんなといろいろ話し合っとうまく活用していこうという意味なのか、縮減の方向に行くという意味の活用なのか、その辺をはっきりした方が良いと思う。	(意見として発言があったもの)
3-(1)-①集会施設 (P12~19)			
56	室根	他の地域で施設を保有している自治会は、認可地縁団体となっているのか。	大東の例では、認可地縁団体として法人登記している自治会、そうではない団体それぞれがある。
57	室根	学校統合は、地域との合意形成で進めている。地区会館は地域にまかせられて進めるのか、どのように進めていくのか。地域にまかせられても大変だと思う。	(意見として発言があったもの)
58	藤沢	地域でも担い手が減少してきている。譲渡したら行政は関係ないではなく、支援が必要。譲渡か廃止かではなく、どのように活用していくのかということ、膝を交えて話し合いをしてほしい。そうした姿勢があれば、地域の方々も理解してくれると思う。	地域の課題のお話もいただきましたが、各地域で共通する部分もございますが、各地域・施設ごとで違う個別の課題があるかと思う。話し合いを通して課題をとらえ、解決しながら取組を進めていきたい。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
59	藤沢	藤沢地域の場合、コミュニティセンターは各自治会協議会に指定管理となっているが、その自治会協議会を取りまとめている藤沢町住民自治協議会への説明を予定しているか。	全体として意見を伺うのは、今回の市民説明会、パブリックコメントと考えている。 個別施設の協議においては、関係する団体等に協議に入っていただきたいと考えている。
60	一関	市民センター分館についての譲渡は、完全な第三者に譲渡してしまう話なのか。	地元自治会や、地元団体へ譲渡し、地元で管理をしていただきたいと考えている。
61	室根	室根地域は、第1次集中改革プランで地区会館の扱いで苦勞したが、旧小学校区単位に集会施設を残した。 あれから年数が経過し、今回の見直しについては財政状況を見るとやむを得ない面もあるが、中山間地域で協働の活動を続けていくのは、集会施設は市街地より大きな役割がある。できれば存続してほしい。やむを得ず譲渡となった場合でも助成を考えてほしい。	譲渡を行うには、条件も話し合う。その中で支援も協議していくが、他のバランスも考えていかなければならない。
62	一関	地元自治会に無償譲渡を検討するということだが、譲渡後に市に対して補修を依頼することは可能か。	譲渡の場合は、所有権を移すという考えのため、市が直接修理するのは難しい。 その場合に、市がどうかかわりができるかについては話し合いの中で検討していく。
63	花泉	集会施設の譲渡について、光熱水費などの負担が大変だと思うが、どのようにしていくのか。	譲渡の地元負担について、それまで市が負担していたものが地元負担となるが、市内の自治集会施設は、市が整備した施設がある一方、地域の方たちで会館を建て、光熱水費、修繕費を地域で負担している施設もある。 地域との話し合いの中で検討を進めていくこととなるが、地域間のバランスを見ながら考えて行く必要もあり、地域の負担に対する具体的な市の支援については、現時点でお話できる状況にはない。
64	大東	大東地域にある体育館を廃止し、集約すると、移動距離が多くなり困る。スポーツ少年団で冬期間利用が多いことを考慮してほしい。	(意見として発言があったもの)
65	室根	人口減少、高齢化の現状で集会所の譲渡を受けるのは自治会の力でできるのか懸念される。	スタートラインをこのような形にした。今後の話し合いの中で進めていく。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
66	藤沢	市民集会施設を指定管理しているが、指定管理料で何とか維持してきた。使用料はあるが、地元利用の場合はなかなか徴収できないなど財源的に大変苦しいことが想定される。 譲渡の際は、登記するため認可地縁団体を設立する必要があるのかなど、手続きを教えて欲しい。	譲渡は基本的には建物を対象として考えており、認可地縁団体による登記も含めて地元との協議をしていきたいと考えている。
67	大東	多くの体育館が廃止の計画だが、建て替えはあるのか。	建て替えは計画していない。
68	大東	大東地域では、体育館の床をはぎ取り、屋内で土の運動場を有している。そのような施設を旧大東町で必要とするから所有していた。廃止のみでなく、代案を考えてほしい。	(意見として発言があったもの)
3-(1)-①-No.4_千厩市民センター、3-(3)-①-No.40_千厩体育館 (P13, 25)			
69	千厩	千厩市民センターと千厩体育館は長寿命化となっているが、駐車場が狭く、大規模な集まりがあると駐車場が不足する。周辺は住宅となっており、駐車場の確保は難しい。施設の新設も考えてほしい。	長寿命化というのは、耐用年数があるということで必要な手当てをしていくということ。 経年劣化が著しい施設は建て替えも必要である。 長寿命化の考え方には建て替えも入っている。
3-(1)-①-No.18_第4区集落センター (P17)			
70	室根	第4区集落センターは、今年から3年間の指定管理を受ける。譲渡となると3年間でとのことだが、具体的なスケジュールが見えない。	譲渡には最低3年間としており、令和8年度までを計画期間としているが、もう少し時間がかかるかもしれない。室根の経緯も理解しているが、共通認識を図る期間と捉えている。
3-(1)-①-No.26_陶芸センター (P18)			
71	藤沢	保有の見直し対象は建物施設とのことだが、指定管理には併設する公園も含まれているがどうするのか。	建物の譲渡と公園の管理をどのようにしていくかを検討していく必要があると考えている。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
3-(1)-①-No.31_保呂羽コミュニティ体育館 (P19)			
72	藤沢	学校統合の際の利活用検討において、避難場所として必要として残した経過がある。 また、利用は少ないが雨天時の活動場所ともなっており、廃止ではなく、施設を残す方法を考えてほしい。	それぞれの施設で、必要があり整備され、いろいろな経過があると捉えている。そうした中で、全ての施設を維持するのは困難であることから、今回の見直し方針の検討となった。 意見頂いた内容については、個別施設の話し合いの中で代替施設の確保なども協議させていただくこととなると考える。個別施設の具体的な課題への回答は現時点では持ち合わせていない。
3-(1)-①-No.34_郷土文化保存伝承館 (P19)			
73	藤沢	伝承館が譲渡の方針だが、隣接の公園と駐車場を共有している。そうした土地についてはどのようなように考えているのか。	個別施設の具体的な課題への回答は現時点では持ち合わせていない。今後の話し合いで課題の発見から取り組んで行きたいと考えている。
74	藤沢	譲渡を受けた場合、将来的な施設の解体はどのように考えているのか。	譲渡後に施設解体が生じた際の費用負担については課題と認識しているが、市としての関わり方については、今後の話し合いを通じて検討していきたい。 解体の費用負担が課題で譲渡を受けられない場合、課題を解決すれば譲渡が進むのかなどが今後の話し合いになる。
3-(2)-②博物館等施設 (P23)			
75	室根	文化財施設について、財政難の中で維持する意味があるのか再検討が必要ではないか。	文化財施設については、文化的価値を尊重して今回の見直しには含めていない。見直しをするには文化財の位置づけを見直していかなければならない。
3-(3)-①-No.39_花泉第二体育館 (P25)			
76	花泉	花泉第二体育館を土間体育館として活用してはどうか。	体育館について、市内には土間体育館はあり、冬場などの利用があるが、そうした体育館は老朽化した施設を、利用しており耐震補強の必要や、修繕費用も嵩んでいる状況もあるので、そうした内容を踏まえて検討していく必要があると考えている。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
3-(3)-①-No.42_花泉弓道場 (P25)			
77	花泉	譲渡の場合は、無償譲渡、有償譲渡とあると思うがどのように考えているのか。 たとえ無償譲渡となっても固定資産税等の経費がかかってくるわけですから、簡単に譲渡するからいいだろうではないと思う。	廃止や譲渡といった場合に、利用者、地域の方との話し合いの中で、課題を共有し、それをクリアするためにはどうしたらいいか、市の関わり方など、話し合いをした上で進めたいと考えている。
78	花泉	花泉弓道場は、延べ床面積の条件に該当し、見直しの対象となったが、小規模な施設ではない。 また、施設自体も修繕が必要な状態ではなく、まだまだ使用可能な施設である。 加えて、施設維持経費も年間8万2千円程度であり、ここ数年のうちに壊すというのは到底納得できない。	廃止の方針としている施設について、廃止イコール解体というものではない。 廃止後に譲渡を受けたいという団体等があれば、譲渡も考えていきたいと思っている。
79	花泉	現状を見て、判断をしたのか。	現状は確認をしている。
3-(3)-①-No.46_春日グラウンド、No.54_伊勢館公園テニスコート (P27, 29)			
80	大東	春日グラウンド及び伊勢館公園テニスコートは廃止か。	春日グラウンドは放送室の建物を廃止するが、グラウンドは維持する。 各地域に1ヶ所のテニスコートを集約するので、伊勢館公園テニスコートは廃止する計画である。
3-(3)-①-No.48_東山多目的グラウンド (P27)			
81	東山	東山多目的グラウンドの規模縮小について、管理棟を対象としているのか。	見直し方針案では、管理棟は他の施設を活用可能な場合は廃止を検討しますとしている。 建築後27年を経過し、今後維持していくには、改修が必要となることが考えられる。 そのタイミングで、規模を縮小することができないかを検討していくことでの位置付けにしている。
82	東山	用具庫としての利用があり必要な施設である。 今後、総合体育館がワクチン接種会場となり、利用者を受入れるため、東山体育館の利用が増える。 現地や、施設の利用状況を踏まえて取り組んでほしい。	個別施設の話し合いの中で意見交換させていただいたうえで、方向性を検討していきたい。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
3-(3)-①-No.64_藤沢スポーツランド (P32)			
83	藤沢	藤沢スポーツランドは昨年度に3年間の指定期間の更新をしたが、見直し方針の実行はいつを予定しているのか。	具体的な保有見直しは、すぐ実行するものではない。様々な課題が想定されるので、課題をクリアしながらどうやっていったら良いかという検討はこれから進めていきたい。 廃止、譲渡については最低でも3年間は必要と考えている。 譲渡についても建物の視点であり、土地の扱いについては利用者等の協議により検討していくこととなる。
3-(3)-②-No.66_祭時スノーランド、No.67_まつるべ館、No.81_いちのせき健康の森キャンプ場、No.90_いちのせき健康の森セミナーハウス (P34, 37, 39)			
84	一関	健康の森の評価について、セミナーハウス、祭時スノーランド、キャンプ場等を個別に評価しているのは何故か。	市内部の検討委員会で、個々に目的が違うため、個別評価を行うことで整理している。
85	一関	個別に評価し、一つ廃止となれば健康の森全体の価値が下がり、将来的には全てなくなるのではという思いがある。健康の森は全体で一つの評価とすべきであると思う。	(意見として発言があったもの)
3-(3)-②-No.72_アストロ・ロマン大東 (P35)			
86	大東	アストロ・ロマン大東はどうなるのか。	譲渡方針であり、民間の受け手を探すもので、廃止ではない。
87	大東	アストロ・ロマン大東は広大な面積を有しているので、民間譲渡は難しいのでは。 現在指定管理であるが、管理が行き届いてない。市でしっかり環境を整備したうえで民間譲渡を進めてほしい。	(意見として発言があったもの)
3-(3)-②-No.72_アストロ・ロマン大東、No.73_大東ふるさと分校、No.74_室根高原ふれあい牧場 (P35)			
88	室根	室根山の3施設については、総合開発で指定管理を受けているが、現実的に譲渡を受けるところがあるのか疑問だ。ない場合はどうするのか。	奥州市では改修して譲渡している例もある。譲渡先がない場合は、施設の継続について検討しなければならない。
3-(3)-②-No.77_きらら室根山天文台、No.88_望洋平キャンプ場 (P35, 38)			
89	室根	室根山は自然公園であり、廃止・譲渡だけでなく利用も考えていく必要がある。条件整理を図ってほしい。	全て新しくするのは難しい。譲渡の相手方と協議しながらよい方向にしていきたい。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方 [会場での回答]
90	室根	室根山の施設は、県と村で整備したが、現在もそれぞれで保有しているのか。	それぞれで保有していると認識している。
3-(3)-②-No.88_望洋平キャンプ場 (P38)			
91	室根	キャンプ場はオートキャンプの需要から整備したが、老朽化してきている。 観光協会の懇談会で意見を聞いて県へ要望するという段階のようだが、市の考えとして県に要望しないと進まないと思う。	(意見として発言があったもの)
3-(3)-②-No.89_石蔵山林間広場 (P38)			
92	川崎	石蔵山林間広場は廃止とあるが、観光施設として位置付けているはずである。公園のみを廃止するのか、石蔵山全体を廃止するのか。	建物の見直し対象であるため、観光資源を見直すものではない。
3-(4)-①-No.100_川崎農村研修センター (P43)			
93	川崎	川崎農村研修センターは譲渡とあるが、地元自治会に譲渡するのか。	民間による効果的な活用が見込まれる場合は譲渡を検討するとしており、地元自治会に限定していない。
94	川崎	川崎農村研修センターが譲渡してしまうと、門崎地区に公の施設がなくなる。避難所の問題など住民は不安を抱えている。	各地域の課題点は個別の話し合いで解決したい。丁寧に説明していく。
3-(4)-①-No.115_千厩奥玉共同作業所 (P49)			
95	千厩	奥玉の共同作業所は廃止となっているが解体するのか。この施設は借地のようなものであるが、地権者に譲渡は考えなかったのか。	廃止イコール解体ではない。 施設としての役割は終了し用途廃止とするが、利活用したいという方がいれば利用いただいて構わない。 借地の場合、地権者の意向も踏まえて対応することが必要と考えている。今後の話し合いの中で譲渡の話があれば、見直しもある。 現時点の考え方であり、確定したものではない。
3-(4)-①-No.117_一関地域市街地活性化施設 (P49)			
96	一関	なのはなプラザに廃止の施設を集約すると、既に駐車場等が使いづらくなるのに、更なる悪化が懸念されるが、検討はしているのか。	駐車場等について、現時点で具体的な方針は出ていないが、課題があることは認識している。どういう形が望ましいか利用者等を含めた協議をもち、検討していく。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
3-(5)-①-No.123_大原保育園、No.124_猿沢保育園（P53）			
97	大東	猿沢保育園、大原保育園は、将来的にどうなのか。	第1期中期計画では活用であるが、今後の動向による。
3-(6)-①-No.138_高倉介護予防センター（P59）			
98	花泉	高倉介護予防センターを老松の介護予防センターと同じように、市民センターへの転用としてほしい。	老松介護予防センターは市民センターに隣接しており一体的な管理ができるということで、転用としている。
99	花泉	無償譲渡の案であるが、年間の維持管理費が80万円近くあり、地域での負担は困難であり、地元への譲渡は難しい。	市民集会施設の地元への譲渡については、他地域でも譲渡されても管理が困難であるとの意見を頂いている。 地域との話し合いの中で、どこの施設でもそうした課題が出てくると思うが、どういった解決策があるのかといった話し合いをスタートさせていただきたいという趣旨で取りまとめた計画である。 方針を策定したらそれで確定ではなく、これをたたき台に地域との話し合いをしながら進めていきたい。
100	花泉	高倉介護予防センターは避難所、投票所としても使用しているので、考慮されたい。	（意見として発言があったもの）
101	花泉	以前説明のあった、高倉介護予防センターのコミュニティセンター化の話はどうなったのか。	平成30年度に地域からの要望等があり、介護予防センターをコミュニティセンター化する話し合いをさせていただいたが、見直し方針策定にあたり、昨年度、一旦白紙に戻らせてほしいと説明している。 市民集会施設の地元への譲渡の方針を示す中で、これから新たにコミュニティセンターを追加するのは市の考えとして整合が図れないと考えている。 方針策定後に話し合いの場を設けていくので、よろしくお願ひしたい。

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
3-(6)-①-No.139_老松介護予防センター（P59）			
102	花泉	<p>老松介護予防センターについて、介護予防事業はサロン活動などでも行っており、介護予防センターでは送迎をしている。</p> <p>他地域に無い活動であり、全てサロンへ移行するよう話があるが、要介護にならない為の取組であり、介護事業の市負担軽減にも効果があると考えている。</p> <p>介護予防センターを無くすことで、要介護者が増え、結果として市の負担が増えるのではいかなものかと思うので、介護予防の機能についても検討してほしい。</p>	<p>老松介護予防センター、サロンについて、施設の見直し方針ではあるが、施設の見直しに合わせて機能の見直しも必要と考えている。</p> <p>機能まで廃止するのか、機能は集約が可能か、別な手法が無いのか、新たな政策で対応ができるのかなど、施設の見直しと合わせて検討をする必要があると考えている。</p>
4-(2)行財政改革の視点の堅持（P64）			
103	千厩	<p>普通財産も多くの施設があると思うが、普通財産についての考え方はどうなっているのか。</p>	<p>今回の計画は行政財産という考え方である。普通財産についても、利活用を促進し、状況によっては売却や解体もしていく。</p>
その他			
104	花泉	<p>花泉統合小学校について、閉校となる6校の跡地の活用について具体的な動きについて教えてほしい。</p>	<p>統合推進委員会の校舎等整備検討委員会で、市で使うか、地域でつかうか、いずれもなければ最終的には民間での活用を検討するという大きな方針はあるが、具体的にこれからであり、市で使うかどうかは令和3年度に各所属等に問い合わせをして、その結果を踏まえて、次の段階へ進む事となる。</p>
105	大東	<p>他市ではどのような施設保有の見直しをしているのか。</p>	<p>民間譲渡を進めているところが多いようである。</p>
106	大東	<p>パブリックコメントの状況はどうであったのか。</p>	<p>約300件の意見をいただき、現在取りまとめをしている最中である。まとまりしだい市のホームページ等で市の考え方も加えて公表したい。</p>
107	大東	<p>本説明資料が膨大で、短時間で理解するのが大変である。</p>	<p>（意見として発言があったもの）</p>
108	大東	<p>大東地域は合併前から過疎法による過疎地域であった。合併後全市が過疎地域となったが、合併前に過疎地域であった地域は、手厚い政策をしてほしい。</p>	<p>（意見として発言があったもの）</p>

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。

一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画に基づく先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）市民説明会 意見交換記録

No.	会場	意見の概要	市の考え方〔会場での回答〕
109	東山	東山小学校を長寿命化改修としたメリットはなにか。	当時の検討状況について、詳細に把握はしていないが、新築を含め比較検討した結果、長寿命化改修を行うこととしたと認識している。事業費についても、当然、判断の材料となったと思う。
110	東山	普通財産で借受している旧東山ふるさとセンターは建築後37年経過しているが、鉄筋コンクリート造であり、まだまだ使用可能な施設と思うが、何年くらい使えるのか。	施設の現状やこれまでの管理の状況で変わって来るが、鉄筋コンクリート造であれば躯体は、60年は利用可能ではないかと考える。
111	東山	旧市民センターを、地区会館として利用したい場合、改修したうえで貸し付けとなるのか。	普通財産の貸し付けは可能であるが、現在、それに対して市が支援や補助を行うことはしていない。借り受け人において、必要な整備を行っているのが現状であり、今回の対象施設と同様の取扱いとなるものではない。
112	室根	自治会の再編統合などは他地域はどうか。	一関で行政区の分区は何件かあった。統合は最近はなかったと思う。
113	藤沢	できれば藤沢だけのものも資料として出していただければ良かった。	(意見として発言があったもの)

※市の考え方は、説明会会場での回答を記載しています。